

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第514号 平成30年3月・4月



『春祭り』 坂本 保己

目 次

	目 次	頁	
1) 保健所だより	西多摩保健所	2	
2) 専門医に学ぶ	荒木雄也	4	
3) 第33回西多摩学校保健連絡協議会報告	学校医部	5	
4) 西多摩医師会新年賀詞交歓会	総務部	6	
5) 同好会短信 ゴルフ部だより	三島淳二	7	
6) 広報だより ～大雪の日に思う～	前田暢彦	7	
7) 連載企画 北格阿利納滞在記 その3	土田大介	8	
8) 新入会員紹介	あきるの杜きずなクリニック	小高哲郎	10
9) 学術講演会予定	学術部	10	
10) 理事会報告	広報部	11	
11) 会員通知・医師会の動き	事務局	14	
12) お知らせ	事務局	18	
13) 表紙のことば	坂本保己	18	
14) 診療報酬請求書提出日一覧表	事務局	19	
15) あとがき	近藤之暢	20	

保健所だより

〈全数報告〉

2017年第50週～2018年第6週(12/11-2/11)の間に診断された感染症について、青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩(以下「管内」)の医療機関より以下の報告がありました。

(二類感染症) 結核 11名 (肺結核 7名、粟粒結核 1名、無症状病原体保有者 3名。年齢は、20代 1名、30代 1名、70代 5名、80代 2名、90代 2名。男性 3名、女性 8名)

(三類感染症) なし

(四類感染症) つつが虫病 1名(60代、男性)、レジオネラ症 1名(60代、女性)、E型肝炎(50代、男性)

(五類感染症) なし

〈管内定点からの報告〉

(人)

	第50週 12/11～	第51週 12/18～	第52週 12/25～	第1週 1/1～	第2週 1/8～	第3週 1/15～	第4週 1/22～	第5週 1/29～	第6週 2/5～
インフルエンザ	120	254	266	218	448	832	807	708	574
RSウイルス感染症		1						1	1
咽頭結膜熱	2		4		3	2			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	14	9	1	10	16	11	2	11
感染性胃腸炎	56	53	38	19	35	41	27	25	20
水痘	2		1	2		6		2	
手足口病	2	1							
伝染性紅斑									
突発性発しん		1			5	3		1	3
百日咳									
ヘルパンギーナ	2								
流行性耳下腺炎		1			1	1	2		
不明発疹症									
川崎病									
急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎									
合 計	199	325	318	240	502	901	847	739	609

〈定点疾患のコメント〉

・インフルエンザの定点当たり報告数は減少していますが、東京都 39.5 西多摩 41.0 で流行警報レベルを超えています。

※警報レベル開始基準値 30 終息基準値 10

『薬と薬局』

今回は薬に関わる行政や薬局の取組についてご紹介します。

政府は医薬品・医療機器等の有効性・安全性を確保し、国民の生命・健康を守るため、平成 25 年に薬事法を改正しました。平成 26 年より施行された「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下、「医薬品医療機器等法」と略)では、製造から販売、市販後の安全対策まで一貫した規制を行っています。医薬品医療機器等法では、安全対策を強化する一方で、再生医療等製品の実用化を促進するための審査制度を新設し、医薬品とは別に医療機器の章を新たに設け、それぞれの特性を踏まえた制度体系になりました。

しかしながら、平成 29 年 1 月に国内において「ハーポニー配合錠」の偽造品が流通するという事案(※1)が発生しました。この偽造品が現金問屋に持ち込まれたものであることを受け、厚生労働省は偽造品の流通防止に重大な責任を負っていた卸売販売業者、薬局および薬局の管理者に対して一定期間の業務停止を命令しました。さらに、全国の卸売販売業者及び薬局に対して、医薬品の譲渡人の本人確認や医薬品の容

器包装の確認等を行うことを求めました。今回は幸いにも患者が内服前に気づいたため、健康被害には至りませんでした。けれども、過去には海外の偽造医薬品を服用したことにより、重大な健康被害を生じた事例（※2）も報告されています。例えば、平成22年には勃起不全（ED）治療薬の偽薬を服用し、低血糖で意識低下を来した国内の症例がありました。現在、国内においては、医薬品の偽造品が消費者に渡る主要なルートは、インターネットを介した医薬品の個人輸入と考えられています。そこで、これを防止するための取組として、厚生労働省はインターネット販売製品買上調査やインターネットパトロール事業を実施しています。

より身近なところでは、保健所の薬事監視員が管内に流通する医薬品等の行政検査を実施しています。例えば、ドラッグストアに立ち入り、販売している医薬品・医薬部外品・化粧品等を取去し、その有効成分の量が規格通りに入っているか等を確認します。

また、覚せい剤、大麻、危険ドラッグ乱用者による事件も大きな社会問題となっています。都では、「東京都薬物の濫用防止に関する条例」に基づき、国内外で流通が確認された未規制薬物をいち早く「知事指定薬物」に指定することにより、都内における危険ドラッグの濫用拡大防止に努めています。さらに、麻薬の原料が取れるけしや大麻は都内でも自生しているため、保健所職員が都内を巡回して、その発見に努めるほか、連絡を受けた場合には現場での除去を行っています。管内では平成29年は58か所のべ178回の巡回監視を実施し、3,357本の不正けしを除去しました。

なお、小平市にある東京都薬用植物園では厚生労働省の許可等を受けて、法律で規制されているけしや大麻の栽培を行っており、それ以外にもジギタリスなど製薬原料として用いられる植物の花も都内で見ることができる貴重な場所となっています。なお、けしの見頃は例年5月初旬から中旬です。

さて、市中で医薬品を入手したり、薬の相談をするのに身近な薬局は平成28年末現在、全国に約5.8万件あり、そこに勤務する約17万人の薬剤師がいます。また管内には167件の薬局があります。そして医薬分業の推進により外来患者の院外処方割合が71.7%（平成28年度）に至りました。一方で、地域包括ケアシステムの推進に伴い、薬局に求められる役割も大きく変化しています。平成26年に公表された「薬局の求められる機能とあるべき姿」（※3）の中で、薬局・薬剤師に求められる機能に関する基本的な考え方として、①最適な薬物療法を提供する医療の担い手、②医療機関等と連携してチーム医療 ③在宅医療において医薬品等の供給体制や適切な服薬支援を行う体制 ④後発医薬品の使用促進や残薬解消といった医療の効率化、⑤セルフメディケーションの推進のために、地域に密着した健康情報の拠点 ⑥患者の治療歴や生活習慣も踏まえた管理責任、などが求められました。

そこで、24時間対応や在宅対応など一定の基準を満たした、「かかりつけ薬剤師」に対し、平成28年の調剤報酬改定において、かかりつけ薬剤師指導料を新設しています。さらに、国民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する機能を有する薬局を「健康サポート薬局」として公表する仕組みを構築しました。健康サポート薬局は、研修を修了し一定の実務経験を有する薬剤師がおり、必要に応じて受診勧奨したり関連機関へ紹介する役割も担っています。平成30年1月末現在、全国に744件、うち都内に75件、管内には2件ありますが、研修修了薬剤師の確保などが課題となっているようです。

これらの取り組みから、全国の薬局と、薬剤師を取り巻く環境は「門前」から「かかりつけ」そして「地域」へと変わってきていることが伺えます。

【参考文献】

※1 「ハーボニー配合錠」偽造品流通事案と国の偽造医薬品対策について
医薬品安全情報350号（2018年）

※2 偽造シアリス®（タダラフィル）により重篤な低血糖症を来した一例：
出雲 博子ら，糖尿病 54巻（2011年）12号 p. 906-909

※3 『薬局の求められる機能とあるべき姿』の公表について
平成26年1月21日薬食総発0121第1号厚生労働省医薬食品局総務課長通知

専門医に学ぶ 第129回

青梅市立総合病院 腎臓内科 荒木 雄也

【症例】 17歳 女性

【主訴】 紫斑・腹痛

【既往歴】 なし

【現病歴】 学校検診にて異常を指摘されたことはなかった。8ヶ月前から四肢に紫斑が出現し、2週間程度持続して自然に消失することがあった。8回ほど再発を認めており、紫斑が出現するタイミングで腹痛を自覚することもあったが、自然に軽快していた。今回再度、紫斑が出現したため、近医を受診し、その後総合病院に紹介受診となった。

【身体所見】

【血圧】 118/65mmHg 【脈拍】 83/分、整 【体温】 36.5℃

【頭部】 咽頭発赤(-), 扁桃腫大(-) 【頸部】 goiter(-) 【胸部】 S1 → S2 → S3(-)S4(-), no rales, no murmur 【腹部】 平坦, 軟, 圧痛(-), 腫瘤(-) 【四肢】 両上下肢に2mm大の紫斑が散在

【検査所見】

【尿定性】 比重: 1.016, WBC: (-), 蛋白: (+-), 糖: (-), 潜血: (3+)

【尿沈渣】 赤血球数: 50-99/HPF 【尿生化】 蛋白量: 201mg/日

【便潜血】 ヒトヘモグロビン: 0ng/ml

【血算】 WBC: 7360/ul, RBC: 454万/ul, Hb: 12.8g/dl, Plt: 25.4万/ul

【凝固】 PT: 13.5sec, PT-INR: 1.12, APTT: 33.9sec, 出血時間: 1分30秒,

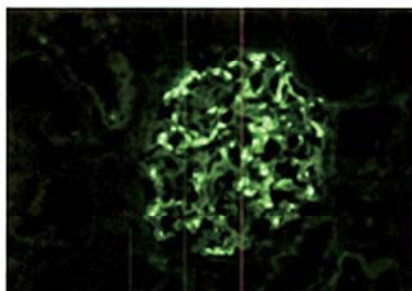
【生化学】 T-Bil: 0.4mg/dl, AST: 18U/l, ALT: 13U/l, LDH: 157U/l, TP: 6.8g/dl, ALB: 4.1g/dl, BUN: 10.3mg/dl, Cre: 0.61mg/dl, Na: 140mEq/l, K: 4.1mEq/l, Cl: 104mEq/l, CRP: 0.10mg/dl, ASO: 30IU/ml, MPO-ANCA: < 0.5IU/ml, PR3-ANCA: < 0.5IU/ml

【診断】 紫斑病性腎炎

【解説】

IgA 血管炎 (Henoch-Schönlein 紫斑病) は紫斑、関節炎、腹痛、腎病変を特徴とする全身性の血管炎である。好発年齢は3-15歳と、小児に多い病気であり大人において発症することは比較的少ないとされている。IgA 血管炎はIgAの沈着を伴う血管炎であり、その発症に感染などが関連する可能性が指摘されているが、詳しい機序については解明がまだなされていない。

ほとんどの症例は自然に改善を認め、治療の基本は支持療法であるとされている。しかし、大人において発症をした場合、腎病変を伴う確率が高く、また重症化する可能性があり末期腎不全に進行する症例も知られている。



IgA

今回の症例は、血尿と軽度ではあるが蛋白尿認め、8ヶ月にわたり再発を繰り返す、17歳と比較的年齢が高い症例であり、腎生検を施行した。腎生検にてメサングウム細胞の増殖とIgAの沈着が確認され、紫斑病性腎炎と診断した。尿所見が持続しており若年の女性であることも考慮し、ステロイドによる加療を行い、腎機能の悪化なく尿所見の改善が得られた。

第33回西多摩学校保健連絡協議会報告

学校医部



第33回西多摩学校保健連絡協議会が平成30年2月8日(木)午後1時30分から福生市さくら会館で行なわれました。当番幹事として羽村市教育委員会、西多摩医師会学校医担当理事の宮城が担当しました。当日はインフルエンザ大流行の最中で西多摩地区の小・中学校にも波及し、学級閉鎖も多く、各地区とも対応に多忙を極めていた模様で例年より出席者が少なめで自治体、学校関係者、西多摩医師会会員、学校保健会関係者併せて40名でした。講演会は東京女子医科大学ガンセンター長、化学療法・緩和ケア科教授でなお学校に於ける「ガン教育」を御自身で実践する為に特別支援学校、中学校、高等学校の教員免許をそれぞれ取得された林和彦先生を講師として招き「発達段階に応じた癌教育の実践とその成果」のタイトルで講演していただきました。林先生は歯科医だった父親を中学生時代に胃ガンで亡くし、「自分がガン専門の医者になる」という目的を持たれてガン専門医となり、ガン患者さんをトータルに診ることを目指して医療を行なっている方です。御自身の経験に基づき、日本人のガンという病気への理解及び認識を高める活動を行なっています。国民のガンに対するイメージはネガティブなものばかりで依然として「治らない病気、苦しみながら死んでしまう病気」というように誤解されています。ガンは現在国民の2人に1人は生涯のうちにかかる病気です。早期発見、治療により早期ガンの90%以上は5年生存率があり、全体でも60%以上がガンを克服できている状態です。ガンの就労問題、我国の世界の中でのガン検診受診率の低迷している状態の改善はどうすればよいかと考え「病気を正しく理解することができるようにする」また「健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする」為に若い世代への啓発活動を全力で取り組む御自身の姿を当日はビデオ・モニター等も使って、精力的に講演されました。当日聞きそびれた会員の皆様には、林氏の著書『子どもと一緒に知る「ガン」になるってどんなこと?』を一読して下さる事を願っております。この本は子どもや親に「病」や「死」のシミュレーションをしてもらうため、ガン患者の3つの実話を物語にした内容を中心に構成されています。また先生は、地域を問わず要請があれば各地の小・中・高等学校に出向いて「ガン教育」の授業を行なっています。今後の先生のさらなる御活躍を出席者一同期待し、講演会は終了しました。

学校医担当理事 宮城 真理



平成30年 西多摩医師会新年賀詞交歓会

総務部



西多摩医師会新年賀詞交歓会が平成30年1月20日(土)に青梅福祉センター「ふよう」にて開催されました。御来賓の方として、衆議院議員、東京都議会議員、西多摩8市町村の首長、西多摩保健所長、4消防署長、そして西多摩歯科医師会、薬剤師会、接骨師会の会長様など21名(代理の方を含む)の御臨席を賜りました。医師会員は34名の皆様に出席していただきました。

冒頭の玉木一弘会長の挨拶では、今年は地域包括ケア元年にあたり、地域医療構想、新介護予防、データヘルス、病床機能の再編など、地域自治体と医師会が協働して特に高齢者に対して総合的な支援を行われなければならない旨を述べられました。

続いて来賓挨拶を東京都議会議員・田村利光様、8市町村長の代表としてあきる野市市長・澤井敏和様よりいただきました。さらに

来賓の方々の紹介に移らせていただき、西多摩保健所長・渡部裕様にご挨拶をお願いし、お食事歓談の時間となりました。

この会場の青梅福祉センター(スイートプラム)のお食事はとてもおいしく、会場の雰囲気も良く、お料理に舌鼓を打ちながら歓談も盛り上がるなか、国立音楽大学演奏科卒業生で結成された弦楽四重奏の演奏が始まりました。1st ヴァイオリン 藁科杏梨さん、2nd ヴァイオリン 織戸香帆さん、ヴィオラ 山内ヒムカさん、チェロ 成澤美陽さんによる音色で会場は心地よく華やかな雰囲気に包まれました。

宴もたけなわ、恒例の福引き抽選会が始まりました。玉木会長が引き当てた番号により12等賞から1等賞までの景品が順次手渡されました。2等賞のポータブルテレビは青梅市立総合病院長の原義人先生に、1等賞のグリルレンジは檜原村の副村長の八田野芳孝様に当たりました。

抽選会が終わった頃に衆議院議員の井上信治先生が到着され、御挨拶をいただきました。その後、西多摩医師会監事で前会長の横田卓史先生より徳川家光の養生訓のお話があり、手締めの音頭をとっていただきました。最後に江本浩副会長より閉会の挨拶があり、無事終了となりました。

総務担当理事 佐藤 正和



同好会短信

ゴルフ部だより

師走目前の平成 29 年 11 月 26 日 東京バーディ倶楽部にて 4 組 13 名に参加いただきました。同倶楽部には珍しく高速グリーンに悩まされ、曇り空で体感気温の低い悪コンディションに苦しんだものの全員無事にホールアウト。タフな戦いを制したのはグロス、驚愕の 36-37 計 73 ストローク（自己ベストタイだそうです。）で回り、ベスグロも合わせて文句なしの完全優勝、見事なラウンドの笛田氏（医師会事務局）、野球で鍛えたりストの強いスイング、飛距離は圧巻、小技も冴え、パットの集中力は流石でした。2 位には常に上位の青山会員がこちらもなんと 38-38 の 76 ストロークで準優勝(上位の 2 人でドラコンやニアピンなどの商品をほぼ総取り・・・)。3 位には青梅チームの牽引役となった最近絶好調の百瀬会員がナイスラウンドで入賞となりました。

恒例の地区対抗戦は、圧倒的な強さで常勝軍団になりつつある福生チームが連続優勝。2 位には百瀬、江本会員に助けられ一矢報いた青梅チーム。3 位の羽村チームは次回の雪辱を誓い、和やかな雰囲気の中、表彰式が行われ無事閉会となりました。

次回は 5 月 20 日東京バーディ倶楽部を予定しております。

皆様のご参加をお待ちしております。

三島淳二



 広報だより

～大雪の日に思う～

前田 暢彦

1/22 は昼からの大雪で道路一面真っ白となった。翌日バスや電車が止まったらどうしようと考えていたが幸い 1/23 の 0 時頃で大雪も止んで、交通機関の尽力のおかげで朝は JR 青梅線の電車で出勤できた。二年前の大雪の際には JR も止まってしまい 2 時間かけて歩いて出勤となったので感謝感謝。朝から駐車場の雪かきをして何とかクリニックもオープンできた。

若い頃、雪道で恐怖を覚えて以来、雪の日には絶対に車に乗らないようにしている。

南国育ちで雪に慣れない私は、20 代のある日に雪が小降りになったことをいいことにノーマルタイヤの車で出勤。雪そのものよりも、それが固まったアイスバーンは本当に恐怖であった。知らぬものほど怖いものはないというがまさにそれであった。インターネットや動画サイトもない時代とは言え、無知とは本当に恐るべし。下り坂ではハンドルが全く効かない、登り坂ではタイヤが空回りする。自分の車はどうなってもいいので、他人を巻き込む交通事故にだけはならないでくれと願うだけ

であった。辛い大事にならずに済んだが、それ以後二度と雪道ではハンドルを握らないと決めている。チェーンを装着すればいいのだろうがあのときの恐怖感が二度と乗るなど脳の扁桃体あたりから危険信号を出すようだ。

車が動くのもハンドル操作ができるのも、地面との摩擦があつてこそと実感した。初めて物理の摩擦力 $=\mu N$ と作用・反作用の法則が紙の上ではなく心の底から理解された瞬間であった。地面を摩擦力を介して押す（作用する）からその反作用で前に進んだり止まったりできるのである。摩擦係数 μ 〈様〉に感謝感謝。

摩擦係数といえば氷どうしの摩擦係数よりも関節軟骨面での摩擦係数のほうが小さい、すなわち（関節液の潤滑作用の助けもあつてのことだが）関節軟骨面同士は氷どうしよりも滑らかに運動するといふのは何という生体の神秘であろうか。

さて大雪をはじめ災害時の日本の公共交通機関やインフラ事業の昼夜を徹した何とかしてでも動かそうとする魂のこもった尽力にはいつも頭が下がる思いで日本人って本当にいいなと思う瞬間である（一方で工業界や建築業界では強度詐称などが最近続いているのは残念）。職種は違いが、危機の際のリスクマネジメントやダメージコントロールには医療界も大いに参考になることが多いと思つている。

連載企画



北格阿利納滞在記 その3

青梅市 土田医院 土田 大介

格阿利納と書いてカロライナと読みます。一昨年に掲載致しました米国ノースカロライナ州滞在記（第502号参照）の続き、今回はスポーツ編です。アメリカは言わずと知れたスポーツ大国ですが、ノースカロライナにも全国レベルのスポーツはいくつかございます。

①バスケットボール

NBA チームとしては滞在中に創設された Bobcats（現在の Hornets）がありましたが、やはりここでは大学バスケが人気です。自分の研究施設が属していたデューク大学のほか、隣接する都市にはマイケル・ジョーダンが所属していたノースカロライナ大学やノースカロライナ州立大学が存在し、各大学が NCAA 男子バスケットボールトーナメント（日本の高校野球における甲子園）の常連でした。デューク大学の監督はコーチ K と言われる Mike Krzyzewski 氏（読めません）で、後に米国代表チームの監督を務めたことのある名将です。デュークの試合はテレビで放送されるので時々見ていましたが、強豪ではあるもののインサイドの弱さに素人ながらいつもハラハラしていた記憶があります。当時のスター選手の一人だった J・J・レディック選手が最近になり活躍しているのを聞いたときは素直に嬉しく思いました。

②ベースボール

住んでいたダーラムは 3A で Tampa Bay Rays 傘下の Durham Bulls の本拠地でした。ケビン・コスナー主演映画の「さよならゲーム」のモデルになった球団で、その球場には自分がアメリカに着く少し前に当時 3A にいた新庄氏が選手として試合に来たり、日米大学野球選手権大会（当時大学生の青木宣親、松田宣浩選手らが出場）が行われたりしていましたが、残念ながら滞在中には日本人選手（松井氏、野茂氏など）が来ることはありませんでした。

③アメリカンフットボール

今年の NFL で Eagles がスーパーボウルを初制覇したのはまだ記憶に新しいところですが、渡米中はノースカロライナのチームである Panthers がスーパーボウルに出場しています。相手は今年も出場した Patriots で、もう 10 年以上前のことですが当時の MVP は今年も活躍したトム・ブレイディでした。負けてはしまいましたが、テレビ観戦で国技ゆえの盛り上がりを味わせてもらいました。

④アイスホッケー

平昌オリンピックでは女子日本代表のスマイルジャパンの健闘ぶりが話題になりましたが、アイスホッケーもアメリカのお家芸です。ノースカロライナに本拠地を置く Carolina Hurricanes は 2002 年にスタンレーカップ準優勝、2006 年に優勝しています。

以上、いろいろ書いてみましたがアメリカに来て一番興味を持ったスポーツはやはりバスケットボールでした。滞在中に一度だけ NBA 観戦をしましたが、試合内容よりもそのショーアップされた演出が印象的でした。今でこそ日本もプロバスケットボールが発足して華やかになっているかと思いますが、スポーツを一つのエンターテインメントと捉える風潮はさすがアメリカです。また、当時は田臥選手が日本人初の NBA 選手として挑戦していましたが、現在は NCAA でプレーしている渡邊雄太選手や八村塁選手らが NBA を目指しています。あの体格差はそう簡単に埋まるものではないでしょうが、東京オリンピックに向けて日本が実力的に少しでも対抗できるよう力をつけてもらいたいところです。



新入会員紹介

あきるの杜きずなクリニック 院長 小高 哲郎

院長 PR :

群馬県藤岡市生まれ。高崎高校を経て、東京大学入学。大学ではボート部に属し、ストイックな合宿所生活を送りました。三井記念病院で一般外科、東大病院、八王子小児病院で小児外科の研鑽を積んだ後、2011年に福生病院に赴任したのを機に、西多摩に移り住むことになりました。釣りやドライブ、歴史散策が趣味だった私にとって、西多摩は馴染み易く、2013年に埼玉医大へ異動後も西多摩に住み続けました。今回、縁あって西多摩の地域医療へ参加できることになり、とても感激しています。



家族の紹介 :

妻：あきる野市生まれ。八王子小児病院に看護師として勤務していた縁で知り合い、私を西多摩に導いてくれました。うれしい時も、辛い時も、お互いに支え合い、乗り越えてきました。

長女：福生市生まれ。私が福生病院へ赴任した2011年の冬に授った女の子です。仕事人間の私でしたが、彼女の日々の成長を見るのが何よりの楽しみとなりました。

◇学術講演会予定

30.2.21

開催日	開始～終了 時間 開催時間	会場	単 位 数	カリキュラム コード	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
3.14 (水)	19:20 ～ 20:30	羽村市 生涯学習 センター ゆとろぎ	1	54	学術講演会 「潰瘍性大腸炎の内科治療と今後の 展望」	東京医科歯科大学 消化器内科 特任准教授 長堀 正和 先生
3.15 (木)	19:30 ～ 21:30	公立 福生病院	2	8, 28	西多摩パネルディスカッション2018 「不明熱」 【症例発表】 【パネルディスカッション】	公立福生病院 小児科 新井 真衣 先生 青梅市立総合病院 リウマチ膠原病科 戸倉 雅 先生 公立阿伎留医療センター 循環器内科 岡部 龍太 先生
3.26 (月)	19:30 ～ 20:30	公立阿伎留 医療センター	1	24	医局講演会 「腎臓内科・整形外科受診を経て皮 膚科にて診断された好酸球性血管浮 腫の一例」	公立阿伎留医療センター 研修医 梶原 勲 先生 皮膚科 新田 桐子 先生
4.12 (木)	19:40 ～ 20:40	公立 福生病院	1	73	学術講演会 「慢性腎臓病の早期治療介入の意義」	腎臓病総合医療センター 部長 中林 巖 先生

理事会報告

★ Information

12月定例理事会

平成29年12月26日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・奥村・川上・進藤・土田・古川・宮城・横田・中野)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

12/15に開催された標記協議会の内容・伝達事項等について、資料により説明報告された

(2) 各部報告

総務部：○各理事部長に対し、平成30年度事業計画について29年度の計画（参考資料）を基に検討の上（案）の策定を依頼、次回理事会において協議する予定を告知

地域医療部：○12/14に糖尿病医療連携検討会・12/19日に脳卒中医療連携検討会を開催、それぞれの検討会の内容等について報告

(3) 地区会報告（各地区理事）：

青梅市 12/14 青梅市三師会役員会を開催

福生市 12/19 福生市医師会理事会開催

1/16 福生市医師会臨時総会開催予定

羽村市 12/15 羽村市主催の在宅医療連携に係る会議へ参加

あきる野市 12/15 役員会開催

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告：

特になし

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

— 承認 —

資料により準会員1名の入会申請が紹介され承認された

その他準会員1名の退会・移動報告1件が紹介・報告された

【3】協議事項**(1) 在宅医療・介護連携推進事業—医療・介護関係者研修（案）について**

平成30年度西多摩広域行政圏協議会主催の標記事業への協力に係る研修（案）について紹介・説明の後、その内容等について承認が求められ可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

特になし

1月定例理事会

平成30年1月30日(火)

西多摩医師会館

(出席者：玉木・江本・奥村・川上・栗原・佐藤・土田・馬場・古川・横田)

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

1/19 に開催された標記協議会の内容・伝達事項等について、資料により説明報告された

(2) 各部報告

総務部：○2/3 開催予定の「医療懇話会」に係る開催場所・日時・出席者等について確認

○平成30年度の「納涼の夕べ」「社員総会」の開催及び日程等について役員の都合等を確認、「納涼の夕べ」は7/11(水)、「社員総会」は6/19(火)いずれも例年通り昭和館にて開催することとした

○1/24 に開催された「医療安全講習会」の状況等について報告

総務部(会員福利互助担当)：○1/20 に開催された「新年賀詞交歓会」の状況等について報告

(3) 地区会報告(各地区理事)：

青梅市 1/12 新年会開催

福生市 1/16 臨時総会及び新年会開催

羽村市 1/16 在宅医療・介護連携の会開催
1/21 理事会開催

あきる野市 1/21 例会開催

瑞穂町

日の出町

(4) その他報告：

○患者様の個人情報記録されたUSBメモリの紛失について(通知)通知資料により標記事案に係る内容等について紹介・報告

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

— 承認 —

資料により準会員2名の入会申請が紹介・報告され入会が承認された

(2) 平成30年度診療報酬請求書提出日(整備委員会開催日)について

— 承認 —

資料により標記に係る30年度の日程案が報告され承認された

【3】協議事項**(1) 平成30年度事業計画(案)について**

提示された事業計画案について意見交換・協議が行われ、(案)の通り可決承認された

— 可決承認 —

(2) 平成30年度福生市立小中学校医(内科・耳鼻科・眼科)の選任について(依頼)

標記につき、地区会の了承に基づき 29 年度と同様の先生を選任することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(3) 平成 30 年度奥多摩町小・中学校学校医の推薦について（依頼）

標記につき、地区会の了承に基づき資料に記された先生を推薦することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(4) 「医療連携協議会」の開催に伴う小児科代表医師の出席依頼について

標記につき、前年同様清水マリ子先生の内諾に基づき清水先生に出席いただくことが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(5) 平成 30 年度保育園嘱託医（内科医）の推薦について（依頼）

標記につき、地区会の了承に基づき 29 年度と同様の先生を推薦することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(6) 平成 30 年度日の出町立小・中学校医の推薦について

標記につき、地区会の了承に基づき 29 年度と同様の先生を推薦することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(7) 平成 30 年度日の出町小・中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について

標記依頼につき依頼内容（資料）の通り承諾することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(8) 「第 23 回東京都脳卒中市民公開セミナーへのご後援のお願い」について

資料により依頼内容紹介の後、依頼事項の承認が提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(9) 東京都医師会 在宅医療の 24 時間体制に関するアンケート調査（ご協力のお願い）

標記の依頼につき、西多摩医師会及び各地区で回答を策定し協力することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(10) 平成 30 年度青梅市立小・中学校学校医の推薦について（依頼）

第 3 小を片平潤一先生・平岡久樹先生の 2 名とし、成木小を中林毅先生に変更、その他は 29 年度と同様の先生を推薦することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(11) 平成 30 年度 町立小・中学校の学校医の推薦について（依頼）

(12) 平成 30 年度 町立小・中学校の学校眼科医の推薦について（依頼）

上記 11 および 12 につき、地区会（瑞穂）の了承に基づき資料に記された先生を推薦することが提案され、可決承認された

— 可決承認 —

(13) 「健康長寿な地域づくりフォーラム」 in 奥多摩の後援名義について

資料により標記依頼内容等紹介の後、依頼事項の承認が提案され、可決承認された

— 可決承認 —

【4】その他

<追加事項>

* 3種混合ワクチン（沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン）の販売開始について（都医通知）

資料により、標記に係る都医からの通知内容等について紹介・報告

会員通知

- 会報1-2月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 学術講演会（1/12、2/1、2/16、2/26、3/2）
- 第16回西多摩医師会臨床報告会のお知らせ（2/22）
- 公立阿伎留医療センター医局講演会（1/29）
- 産業医研修会（3/10中野区医師会）
- 〃前期研修会（3/3,4東京都医師会）
- 医療安全講習会（1/24）
- 都内公立学校のインフルエンザ様疾患に関する情報提供について
- インフルエンザ情報第5報・第6報・第7報
- 感染性胃腸炎の流行に伴うノロウイルス感染予防対策の啓発について
- 青梅市立総合病院地域医療連携懇話会（2/7）
- 个人防护具着脱訓練のご案内（2/19）
- 平成29年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会
- 第33回西多摩学校保健連絡協議会の開催について（2/8）
- 青梅市立総合病院第22回地域連携がん診療セミナー（2/8）
- 青梅市立総合病院緩和ケア研修会（2/11,12）
- 難病及び小児慢性特定疾患の患者に対する医療費助成に係る経過措置の終了に伴う指定医療機関における医療受給者証の確認について
- 風しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について
- 東京都小児慢性特定疾病児童等自立支援事業講演会（1/27）
- 平成29年度児童虐待対応研修（2/6）
- 平成29年度医療情報の理解促進に関する研修会
- 平成29年度ワクチン価格調査の実施について
- 平成29年度母子保健講習会開催について（2/18）
- 脳卒中医療連携検討会「市民公開講座」（2/10）
- 平成29年度東京都立学校産業医研修会（3/3）
- 抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について
- 東京都立小児総合医療センター勉強会（1/11）
- 平成29年度第3回東京JMAT研修会の開催について（3/4）
- 東京都難病、がん患者就業支援奨励金について（依頼）
- 日本医師会雑誌、日医ニュースの提供方法に関するアンケート調査（再調査）の実施について
- 第31回西多摩消化器疾患カンファレンスご案内と症例募集
- 平成29年度学校保健講習会開催について（3/11）
- 第253回学校保健セミナー（1/23）
- 平成29年度第2回学校保健（学校医）研修会（2/3）
- 西多摩三師会認知症サポーター養成講座（2/24）
- 西東京医師協同組合第35回囲碁大会（2/25）
- 平成29年度東京都暮らしの場における看取り支援事業（都民向け講演会1/16,1/23,2/1,2/3）

- 東京都医師会名簿情報掲載確認について
- パネルディスカッション2018 アンケート
- 水痘に関する情報提供について
- 高齢者インフルエンザ請求について
- 平成29年度東京都医師会功労賞表彰及び医学研究賞・グループ研究賞受賞記念講演会・医学生活動報告会 ご案内 (3/11)
- 平成29年度日本医師会「認定産業医」新規申請について (第6回/2月受付分)
- 平成30年度診療報酬請求書提出日一覧表
- 西多摩地域糖尿病セミナー (3/11)
- 「がん地域連携指導致料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について (平成30年4月1日算定)
- 医療機関対象「平成29年度医療廃棄物適正処理研修会」
- オランザピン製剤の使用に当たっての留意事項について
- 東京都救急医等専門研修 (3/14)
- 妊婦健康診査の取扱いの変更点について
- 平成30年4月1日以降の要介護認定制度等について (周知)
- ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種に関するリーフレットについて
- 「新生児聴覚検査の実施について」の一部改正について
- 後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正に係る留意事項について
- 武蔵野市医師会講演会 (3/12)
- 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの供給等について
- 平成30年1月1日から風しんの届出が変わりました
- 平成30年度日本医師会認定産業医制度における各種申請受付期間等の通知について
- 労働者を募集する企業の皆様へ～労働者の募集や求人申し込みの制度が変わります(職業安定法の改正)
- 東京都子供の心診療支援拠点病院事業 第10回子供の心を考える都民フォーラム (2/18)
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとしての健康・タバコフリー社会づくりに関する国際会議 (2/18)
- 都立小児総合医療センター医療連携だより

/// 医師会の動き ///

平成30年2月21日現在

医療機関数	194	病院	30
		医院・診療所	164
会 員 数	544	正会員	206
		準会員	338

会 議

1月18日	西多摩地域医療連携ICTシステム整備委員会
18日	在宅難病調整委員会
30日	定例理事会
2月3日	西多摩地区医療懇話会
13日	西多摩地域医療連携ICTシステム整備委員会
13日	定例理事会
21日	広報部会(会報編集)
27日	定例理事会

講演会・その他

1月9日	保険整備会
12日	学術講演会 演題：「小児急性胃腸炎ガイドラインと経口補水療法」 演者：済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科 副部長 十河 剛 先生
18日	法律相談
20日	西多摩医師会新年賀詞交歓会
24日	医療安全講習会 講師：崎山小児科 院長 崎山 弘 先生 演題：「明日から実践できる予防接種の間違ひ防止策」
25日	糖尿病教室

1. 「糖尿病による心臓の異常について」
2. 「上手に体重管理をしましょう」
30日 在宅医療講座
テーマ：「在宅医療を推進するための課題と解決策」
【症例提示1】
演者：国立精神・神経医療研究センター
身体リハビリテーション科
理学療法士 石田 恭子 様
グループワーク・発表
【症例提示2】
演者：青梅市健康福祉部 高齢介護課 包括支援係長 草野 正義 様
グループワーク・発表
- 2月1日 学術講演会
西多摩糖尿病と心血管イベントを考える会
《基調講演》
演題：「薬理学から見たSGLT2阻害薬」
講師：杏林大学医学部薬理学教室 教授 櫻井 裕之 先生
《特別講演》
演題：「循環器医から見たSGLT2阻害薬の意義」
講師：特定医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院 心臓血管センターセンター長 岩倉 克臣 先生
- 1日 学術講演会
演題：「糖尿病治療の現状と課題 データベース研究から分かること」
演者：国立国際医療研究センター 糖尿病情報センター長 大杉 満 先生
- 8日 保険整備会
- 8日 第33回西多摩学校保健連絡協議会
講演：「発達段階に応じたがん教育の実践とその成果」
講師：東京女子医科大学 がんセンター長 林 和彦 先生
- 10日 西多摩地域脳卒中医療連携検討会 「市民公開講座」
- 「脳卒中にならないために、脳卒中になってしまったら」
講演1：「脳卒中の治療～血栓溶解療法・血栓回収療法を中心に～」
公立福生病院 副院長 小山 英樹 先生
講演2：「脳卒中の健康管理」
青梅市立総合病院 神経内科部長 田尾 修 先生
講演3：「脳卒中医療連携検討会 アンケート結果と在宅療養」
大久野病院 院長 進藤 晃 先生
- 15日 法律相談
- 16日 学術講演会
【講演I】
演題：「ADL維持を意識した心不全治療」
演者：東京大学大学院 医学系研究科 ユビキタス予防医学講座 特任助教 上田 和孝 先生
【講演II】
演題：「心不全の心リハを早期導入するためには」
演者：藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 循環器内科 教授 井澤 英夫 先生
- 19日 東京都事業「個人防護服着脱訓練」
- 20日 第31回西多摩消化器疾患カンファレンス
【症例提示】
「エイズが怖い大腸赤痢アメーバの2症例」
「多彩な形態をもつ悪性リンパ腫の3症例」
井上医院 井上 栄生 先生
演題：「Hostを考慮した癌治療のいま」
講師：福島県立医科大学 先端癌免疫治療研究講座/医学部消化管外科学講座 教授 柴田 昌彦 先生
- 22日 糖尿病教室
1. 「糖尿病による眼の異常について（眼科医）」

2. 「上手に減塩しましょう」
22日 臨床報告会
演題・演者
1. 遷延する下痢症状と貧血を呈したマラリア感染症の1例
公立福生病院 小児科
中橋 達 先生
2. 青梅市立総合病院における肝胆脾外科治療
青梅市立総合病院 外科
山本 訓史 先生
3. 腸間膜嚢胞の1例
公立阿伎留医療センター
副院長 矢嶋 幸浩 先生
26日 学術講演会
T2DM Forum in 西多摩
～腎臓・心臓保護の観点から～
Special Lecture I
演題：「SGLT2阻害薬を検証する－腎臓専門の立場から－」
演者：日本大学医学部 内科学系
腎臓高血圧内分泌内科学分野
主任教授 阿部 雅紀 先生
Special Lecture II
演題：「循環器医からみた糖尿病治療の転換」
演者：桜橋渡辺病院 心臓血管センター長兼検査科部長 岩倉 克臣 先生

役員出張

- 1月13日 杉並区医師会創立70周年記念祝賀会
13日 西多摩歯科医師会新年会
13日 柔道整復師会西多摩支部新年会
18日 地区医師会・区市町村在宅療養担当者連絡会
19日 地区医師会長連絡協議会・新年懇親会
24日 多摩ブロック医師会代議員連絡会・懇親会
25日 精神科医療地域連携事業「症例検討会」
26日 中野区医師会70周年記念祝賀会

- 2月14日 青梅看護専門学校運営会議
19日 西多摩地域保健医療協議会「生活衛生部会」
19日 地域災害医療連携会議（福生ブロック）
20日 認知症医療疾患センター医療介護協議会
23日 地区医師会長連絡協議会
23日 多摩ブロック医師会連絡協議会
24日 西多摩三師会「認知症サポーター養成講座」

【入会会員】（正会員）

氏名 西大條 文一
勤務先 （医社）真愛会 介護老人保健施設
あかしあの里
出身校大学 東北大学 昭和61年3月卒

【退会会員】（正会員）

氏名 相川 隆司
勤務先 （医社）真愛会 介護老人保健施設
あかしあの里

【入会会員】（準会員）

氏名 神谷 増三
勤務先 （医社）豊寿会 熊川病院
出身校大学 名古屋市立大学
昭和54年3月卒

氏名 小川 真司
勤務先 公立福生病院
出身校大学 徳島大学 平成8年3月卒

氏名 野村まなみ
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 富山医科薬科大学
平成4年3月卒

【退会会員】（準会員）

氏名 小林 康光（死亡）
勤務先 石畑診療所

【所在地変更】

あべクリニック

(新) あきる野市瀬戸岡474-6

(旧) あきる野市瀬戸岡459-11

【管理者変更】

(医社) 真愛会 介護老人保健施設

あかしあの里

(新) 西大條 文一

(旧) 相川 隆司

訃報

新井 トシ様 (享年88歳)

瑞穂町長岡 1-51-2

(医社) 健真会 新井クリニック

院長 新井 敏彦 先生(ご母堂様)

去る平成30年1月21日 逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

事務局より お知らせ

保険請求書類提出

平成30年 4月 (3月診療分) **4月9日(月)** 正午迄

平成30年 5月 (4月診療分) **5月9日(水)** 正午迄

法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
毎月**第3木曜日**午後2時より実施いたします。
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **3月15日(木)**
- 4月19日(木)**
- 5月17日(木)**

- ◎場 所 西多摩医師会館
 - ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
 - ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
 - ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

表紙のことば



『春祭り』

毎年4月に開催される羽村の春の大祭(八雲祭)は市内各神社から6基の山車が繰り出されます。奈賀地区玉川神社の出陣は狐踊りのお囃子で始まりました。勇壮な神輿の川渡り、可愛い子供神輿がいろいろを添えます。

青梅市健康センター 坂本保己



平成30年度診療報酬請求書提出日一覧表

平成30年度（平成30年4月～31年3月）各月の診療報酬請求書提出日は下記の通りです。

平成30年	4月9日（月）	正午まで
	5月9日（水）	//
	6月7日（木）	//
	7月9日（月）	//
	8月8日（水）	//
	9月7日（金）	//
	10月9日（火）	//
	11月8日（木）	//
	12月7日（金）	//
平成31年	1月9日（水）	//
	2月7日（木）	//
	3月7日（木）	//

※ 整備委員会は同日午後1時より開催いたします。

あ と が き



今年の冬はとにかく寒い!!
これも影響してかインフルエンザの流行も異常といっているほどになっています。
以下は当院での状況です。

患者数は例年の倍近くになっています。
B型インフルエンザがまさに猛威を振るっている状況です。

例年ですと年末にA型インフルエンザが数例発症して一度年末年始の休日が幸いしてか年始は少し減りその後1月下旬から2月頃に患者数がピークに達し3月に収束傾向になり3～4月にB型インフルエンザが散発するような状況でした。

今シーズンは11月末からB型インフルエンザが発症し始め徐々に増加、1月中旬から2月末に至るまで20～80人/週の患者数です。8割方はB型であり、2月後半になりややA型が増えてきているようです。

問診では微熱（あるいは平熱）だったのでインフルエンザではないと自己診断して市販薬で解熱させ仕事や学校に行ってしまう患者数が増えてしまっているように感じます。

最近の市販薬は医療機関での処方薬より良く症状を抑えてくれます。静養を目的とした内服であれば症状軽減もよいのですが、仕事などで外出する目的で症状を軽減したのでは疾病の拡散になってしまいます。

腹立たしい限りです。

中小企業などではかなりの収益減少も来してしまっていることでしょう。

製薬メーカーや販売業者を告発・告訴するような人がいないのが不思議です。

あきる野市内での流行状況ですが、10年ほど前から西側の特定の地域からインフルエンザ患者が出て徐々に東西に拡散していくように感じています（あくまでも私の印象です）それまでは市内の東側からインフルエンザの流行が始まっていました（昭島市や福生市でインフルエンザ患者が報告されてから2週間くらいして市の東側から徐々に西へと流行していました）。

また症状や経過からはどう見てもインフルエンザと思われる症例で繰り返し検査をしても結果は陰性であった症例が相当数あり、本来なら流行しないC型インフルエンザ（一般的には検査できない）の可能性などもあるのではないかと思いました。

今シーズンの状況では高病原性鳥インフルエンザが流行したときには手のつけられない状況になると案じています。

病原性の低いインフルエンザが流行しているときにいかにして流行をくい止めるかをトレーニングしなくてはならないと感じました。

私が学校医をしている小学校に『手洗い・うがい・鼻をかむ、鼻をすするのは東洋人だけ!? 鼻はすするなかめ!!!!』と指示しました。（言葉的には命令の様になってしまいましたが）。

日常診療にも影響が出ており早期に収束することを望んでいます。

近藤之暢

一般社団法人 西多摩医師会

平成30年3月1日発行

会長 玉木一弘 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会 古川 朋靖

栗原 教光 土田 大介 鹿児島武志 奥村 充 神尾 重則 近藤 之暢

菊池 孝 進藤 幸雄 前田 暢彦 松崎 潤 松本 学

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

国民の健康と医療の向上をめざす

東京保険医協会

医師会と保険医協会はくるまの両輪です。
医師会の会員の皆様にも保険医協会への入会をおすすめします。

資料請求は
こちらまで!



元西多摩医師会会長 松原 貞一
元西多摩医師会会長 真鍋 勉

減点や返戻等の保険請求対策、年金や休業保障等の多彩な共済制度で
保険医協会はこれからも先生方をサポートして参ります。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-7 KDX新宿ビル4F TEL:03-5339-3601
FAX:03-5339-3449 E-mail:info@hokeni.org http://www.hokeni.org/

東京保険医協会 検索



お客さまの幸せづくり

たましん



ひかり輝く未来づくりを 地域とお客さまとともに。

— わたしたちたましんは、
多摩を活動地域とする地域金融機関として、
多摩の地域社会の未来のために、
総合的・積極的にサポートしています。

リスル
RISURU

リスルはたましんのイメージキャラクターです ©2003, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.6573408

多摩信用金庫

http://www.tamashin.jp

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所



株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-2621

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

健康の通信簿



健康ってどうやって調べるんだろう？

宿題やテストではわからないよね。

体の通信簿ってあるのかな？

成績悪いとおこられちゃう？

パパやママの成績がいいとうれしいな。



臨床検査事業

臨床検査/遺伝子検査/予防医学/治験検査



医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守



関連事業

食品衛生検査/環境検査/歯科検査



臨床検査は健康な未来への道しるべ
バイオシステムで医療に貢献します

株式会社ビー・エム・エル
<http://www.bml.co.jp/>

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132